

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	こども発達支援センター事業	所管部局	児童部

1	所管室課	こども発達支援センター	事業名	こども発達支援センター管理事業		
事業概要						
こども発達支援センター管理						
活動実績						
電気設備、消防設備、建築物・建築設備等の安全点検、修繕を実施。警備安全管理業務を実施。		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	21,199	35,705	27,098	
		一般財源の比率(%)	98.9	100.0	100.0	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 平成19年(2007年)に施設が整備されてから16年経過していることから、令和4年度は厨房に設置している食器洗浄機について更新を行った。今後とも施設内の設備を計画的に更新していく必要がある。また、昨今の異常気象等の影響により集中豪雨が多く発生し、雨漏りが頻発している。市内の障がい児施策推進の拠点施設として運営を続けるためには、施設全体の計画的な改修が必要である。					※課題があるものは■ 今後の実施計画の方向性・内容 継続	

2	所管室課	こども発達支援センター	事業名	児童発達支援事業		
事業概要						
児童発達支援、相談支援、保育所等訪問支援						
活動実績						
杉の子学園では、発達に課題のある児童に対し、集団生活や日常生活のなかで基本的な動作の指導や発達を促すための支援を単独通園により行った。令和4年度末園児数66人。杉の子学園では、通園児童の保護者支援として、ペアレント・プログラムを実施した。わかたけ園では、上肢、下肢または体幹の機能に障がいのある児童に、発達支援及び理学療法等を親子通園により提供した。令和4年度末園児数28人。わかたけ園では、保健センター等の関係機関から紹介を受けた未就学児を対象とした保護者同伴の親子療育教室を行った。また、関係機関からの紹介を受けた18歳未満の児童に対し、医師の指示のもと、外来訓練(理学療法)を実施した。		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	107,178	103,832	113,567	
		一般財源の比率(%)	93.5	92.0	92.8	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 杉の子学園・わかたけ園の在籍者が減少している。杉の子学園は、これまで3歳児以上を主な入園対象としていたが、満3歳を迎えた2歳児も入園可能とすることで園児数の確保を目指す。わかたけ園においては、就労家庭の増加により親子通園が困難との意見があるため、単独通園の対象範囲の拡大を検討していく。医療的ケアを必要とする児童が増加している。看護師1名の増員、療育相談窓口の設置や支援情報の発信強化などの取組を令和5年度から実施することとし、医療的ケアを必要とする児童への支援の充実を図っていく。					※課題があるものは■ 今後の実施計画の方向性・内容 継続	
・杉の子学園ペアレント・プログラム実施件数 令和4年度 14件 ・わかたけ園外来訓練(延件数) 令和2年度 1,181件、令和3年度 1,577件、令和4年度 1,345件						

3	所管室課	こども発達支援センター	事業名	地域療育事業		
事業概要						
地域療育、通園療育支援、乳幼児健診事後指導						
活動実績						
・外来相談 一般相談：令和2年度 298件、令和3年度 300件、令和4年度 225件 発達相談：令和2年度 591件、令和3年度 472件、令和4年度 483件 言語相談：令和2年度 171件、令和3年度 178件、令和4年度 141件 作業療法相談：令和2年度 233件、令和3年度 175件、令和4年度 172件 ・各種療法 言語聴覚療法：令和2年度 942件、令和3年度 551件、令和4年度 458件 作業療法：令和2年度 1,390件、令和3年度 1,218件、令和4年度 582件 ソーシャルスキルトレーニング 令和3年度 24件、令和4年度 40件 ・施設支援 言語聴覚療法：令和4年度 13件 作業療法：令和4年度 218件 ・親子教室：令和2年度 302組、令和3年度 316組、令和4年度 312組 ・巡回相談：令和2年度 321件、令和3年度 455件、令和4年度 387件 ・児童発達外来：令和2年度 20件 令和3年度 28件 令和4年度 31件 ・ペアレントトレーニング：令和3年度 30件 令和4年度 170件 ・療育支援事業 機関支援：8事業所 研修 11回 ・身体障害児通園施設長期欠席対策事業 保護者の出産や入院で通園が困難となった児童の療育を受ける機会を保障するため、通園の介助員確保について助成を行う。 令和2年度 5名、令和3年度 3名、令和4年度 4名(わかたけ園通園児含む)		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	63,568	81,600	83,167	
		一般財源の比率(%)	87.0	88.8	89.3	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 支援を必要とする児童は増加傾向にあり、従来の事業のあり方では対応に時間を要するなどの課題がある。令和5年度から、大阪大学大学院の研究機関との業務提携開始を予定しており、その他の関係機関との連携も図りながら、より効率的・効果的な療育システムを確立するための見直しを行っている。また、児童発達支援を行う民間事業者は毎年増加しており、事業者と関係機関との連携や療育の質の向上を図る必要がある。					※課題があるものは■ 今後の実施計画の方向性・内容 継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	ひとり親家庭等支援事業	所管部局	児童部

1	所管室課	子育て給付課	事業名	児童扶養手当給付事業		
事業概要						
児童扶養手当給付						
活動実績						
・児童扶養手当法に基づき、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童を養育する者に手当を支給した。 【支給件数】 令和2年度…25,777件 令和3年度…25,432件 令和4年度…24,402件		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
		決算額(千円)	1,164,579	1,049,535	1,001,523	
		一般財源の比率(%)	61.8	66.5	66.7	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 法定受託事務で、ひとり親家庭への経済的な支援の根幹となる事業である。ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進を図るためには、受給者への就業支援と合わせて事業を実施する必要がある。						

2	所管室課	子育て給付課	事業名	ひとり親家庭等支援事業		
事業概要						
ひとり親家庭自立支援						
活動実績						
【自立支援教育訓練給付金の上限額引上げによる拡充】【ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援の受講開始時給付金の新設による拡充】 ・母子・父子自立支援員、就業支援専門員によるひとり親家庭相談の実施 ひとり親家庭相談 令和2年度…1,210件 令和3年度…1,212件 令和4年度…1,154件 就労支援相談 令和2年度…925件 令和3年度…811件 令和4年度…705件 ・養育費・面会交流相談 令和2年度…29件 令和3年度…21件 令和4年度…23件 ・ひとり親家庭に対する自立支援給付金の支給 支給人数 令和2年度…30人 令和3年度…23人 令和4年度…25人 支給額 令和2年度…22,887千円 令和3年度…17,652千円 令和4年度…21,391千円 ・日常生活支援の実施 日常生活支援延べ利用回数…12回 派遣委託料…151千円 ・ファミリー・サポート・センター利用料の助成 延べ利用回数…242回 助成額…293千円 ・療育費に関する公正証書等作成費用の補助 申請件数…20件 助成額…457千円		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
		決算額(千円)	3,407	30,273	33,817	
		一般財源の比率(%)	36.2	42.5	40.4	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 一人でも多くのひとり親家庭の方に、より良い条件での就職や転職等に関する専門的な相談や情報提供を行うとともに、公共職業安定所等の関係機関と連携しながら、継続的な支援を行っている。また、ひとり親家庭の生活の安定を図るため、児童扶養手当の手続きの際に、養育費の取決めに係る公正証書作成補助制度等の案内を行っている。						

3	所管室課	子育て給付課	事業名	母子生活支援施設・助産施設入所事業		
事業概要						
市外母子生活支援施設入所、助産施設入所						
活動実績						
・母子生活支援施設 DVなどの理由により、市内に居住することが困難な母子家庭を入所させ、生活の安定を図った。 【入所世帯数】 令和2年度…2世帯 令和3年度…2世帯 令和4年度…1世帯 ・助産施設 経済的な理由により入所助産を受けることができない妊産婦に対して、入所助産に係る費用を助成した。 【入所人数】 令和2年度…5人 令和3年度…4人 令和4年度…5人		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続
		決算額(千円)	10,977	7,107	2,539	
		一般財源の比率(%)	47.1	54.2	50.0	
ひとり親家庭等の生活の安定を図り、配慮を必要とする家庭への支援として、今後も引き続き実施する必要がある。						

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名
子育て給付課	子育て世帯生活支援特別給付金事業		

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	ひとり親家庭等支援事業	所管部局	児童部

4	所管室課	子育て給付課	事業名	母子父子寡婦福祉資金貸付金債権購入事業		
事業概要						
母子父子寡婦福祉資金貸付金債権購入						
活動実績						
母子父子寡婦福祉資金貸付金債権購入経費 債務負担行為 令和5年度から令和8年度まで		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)			33,701	
		一般財源の比率(%)			100.0	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容
		令和2年4月の中核市移行に伴い、大阪府から事務移譲を受けた母子父子寡婦福祉資金貸付金の譲渡債権を購入するため、事業を実施する必要がある。				継続

5	所管室課	子育て給付課	事業名	交通遺児手当・遺児手当支給事業		
事業概要						
交通遺児手当支給、遺児手当支給						
活動実績						
・交通遺児手当 交通事故により両親の一方が死亡または重度障がいとなった中学校修了前の児童を養育する者に対して手当を支給した。 【支給件数】 令和2年度…92件 令和3年度…110件 令和4年度…108件 ・遺児手当 両親が死亡または重度障がいとなった中学校修了前の児童を養育する者に対して手当を支給した。 【支給件数】 令和2年度…155件 令和3年度…136件 令和4年度…98件		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	2,001	1,993	1,669	
		一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容
		経済的・精神的な不安を抱えることとなった家庭を支援することで、児童の健全な育成を図るため、今後も引き続き、事業を実施する必要がある。				継続

6	所管室課	子育て給付課	事業名	ひとり親家庭医療費助成事業		
事業概要						
ひとり親家庭医療費助成						
活動実績						
18歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童と、その児童を監護養育するひとり親等に係る医療費の自己負担額の一部を助成した。 令和2年度 延べ対象者数…58,409人 助成額…147,648千円 令和3年度 延べ対象者数…58,491人 助成額…157,073千円 令和4年度 延べ対象者数…55,673人 助成額…159,446千円		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	151,829	161,551	163,905	
		一般財源の比率(%)	48.5	49.8	51.1	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容
		ひとり親家庭の方の経済的負担を軽減し、安心して医療が受けられるよう、継続して事業を実施する必要がある。				継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	家庭児童相談事業	所管部局	児童部

1	所管室課	家庭児童相談室	事業名	家庭児童相談事業		
事業概要						
子育て短期支援、子ども見守り家庭訪問、育児支援家庭訪問、児童虐待防止対策、親支援プログラム、子育て世帯家事・育児支援						
活動実績						
(1) 児童虐待防止対策事業 相談内容が複雑化する家庭児童相談に迅速かつ適切に対応するため、令和3年度に職員を1名増員し相談体制の強化を図ってはいるが、大幅に相談件数が増加する中で、職員は対応に追われている状況にある。虐待に発展する前の予防的支援を実施する必要がある。 ・家庭児童相談件数 令和元年度(1,444件)、令和2年度(1,630件) 令和3年度(1,538件)、令和4年度(2,017件)		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 拡充 人員確保等を含め、さらなる家庭児童相談体制の充実に努める。
(2) 子ども見守り家庭訪問事業 面談率の向上のため、会計年度任用職員を配置。新型コロナ禍においても家庭訪問を行うことで、乳児家庭の地域社会からの孤立を防止するため、乳児の健やかな成長に必要な情報の提供や助言を実施した。 ・民生・児童委員、主任児童委員等の家庭訪問における面談率(保健師の新生児訪問を除く) 令和元年度(55.6%)、令和2年度(3.4%) 令和3年度(35.2%)、令和4年度(79.0%)		決算額(千円)	5,156	4,968	9,282	
(3) 子育て世帯家事・育児支援 家事・育児等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦・ヤングケアラー等がいる家庭に支援員が訪問し、家事・育児等の支援を実施することにより、家庭の養育環境を整え、虐待リスク等を未然に防ぐことを目的とした事業を実施した。 令和4年度(延利用件数106件 実世帯数7世帯)		一般財源の比率(%)	39.0	28.3	45.3	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 複雑化する家庭児童相談に対して、人員の確保により体制を強化し、虐待に発展する前の予防的支援、児童虐待の早期発見、早期対応に努める必要がある。家事・育児支援や短期入所等の虐待防止等に繋げるための社会資源が不足している現状である。子ども見守り家庭訪問事業については、引き続き面談率の向上に取り組みつつ、母子保健課との連携や事業のあり方を検討していく。						

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		決算額(千円)				
		一般財源の比率(%)				
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題						

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		決算額(千円)				
		一般財源の比率(%)				
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題						

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード 413	施策 配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業 子供の生活支援事業	所管部局 児童部

1	所管室課	子育て政策室	事業名	子どもの生活支援事業		
事業概要						
子どもの生活支援						
活動実績						
・小学5年生と中学2年生の児童・生徒とその保護者、5歳児の保護者を対象に「吹田市子供の生活状況調査」を実施し、庁内の会議体「子供の貧困対策に関するワーキングチーム」での検討を経て、「第2次吹田市子供の夢・未来応援施策基本方針」を策定した。 ・市内で子供食堂を運営する団体に対して開設等費用の補助事業を実施した。また、子供食堂の運営団体や関係機関によるネットワーク会議の開催、食材提供や民間の補助事業についての情報提供、市ホームページによる周知等の支援を実施した。 補助団体数 令和2年度…1団体、令和3年度…3団体、令和4年度…3団体 ・「子どもたちを取り巻く現状」や「居場所づくり」といった内容をテーマに、市民や関係部署の職員を対象とした『お金だけじゃない子どもの貧困 居場所とサポートについて考える』と題した講座を開催した。		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 拡充 所得格差による学び・経験の機会の差の解消に努める
		決算額(千円)	204	563	5,523	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	63.4	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題						
・新たな基本方針のもと、関係機関と連携し多様化・複雑化する課題に対し、分野横断的な対応を検討する必要がある。						

	所管室課	事業名				
事業概要						
活動実績						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		決算額(千円)				
		一般財源の比率(%)				
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題						

	所管室課	事業名				
事業概要						
活動実績						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		決算額(千円)				
		一般財源の比率(%)				
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題						

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	子供の生活支援事業	所管部局	福祉部

1	所管室課	生活福祉室	事業名	子どもの学習・生活支援事業		
事業概要						
子どもの学習・生活支援						
活動実績						
(1) 貧困の連鎖を防止することを目指し、生活困窮者世帯の子どもの学力向上のための学習支援教室（4ブロック各1教室）での学習指導を行った。 南ブロック 学習支援教室 開催回数 96回 延べ参加人数 582人 北ブロック 学習支援教室 開催回数 99回 延べ参加人数 658人 東ブロック 学習支援教室 開催回数 96回 延べ参加人数 679人 西ブロック 学習支援教室 開催回数 97回 延べ参加人数 356人 (2) 子ども健全育成生活支援員による養育・教育・日常生活支援を行った。 子ども健全育成生活支援員 3人		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 参加希望の多かった北ブロックについて、令和5年度、新たに1教室増設。
		決算額(千円)	27,508	28,064	27,785	
		一般財源の比率(%)	50.1	50.0	50.2	
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題						
学習支援教室は、令和4年度は、60人の中学生が参加し、参加した中学3年生の高校進学率は100%となった。不登校状態の子供への支援の充実や高校進学後の中退防止が課題であり、有効な事業手法の研究や他の関係機関との連携の強化に取り組んでいる。引き続き、子ども健全育成生活支援員を活用しながら、効果的な支援に取り組む。						

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		決算額(千円)				
		一般財源の比率(%)				
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題						

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		決算額(千円)				
		一般財源の比率(%)				
事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題						

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	児童福祉サービス給付事業	所管部局	児童部

1	所管室課	子育て政策室	事業名	児童福祉サービス給付事業		
事業概要						
児童福祉サービス給付						
活動実績						
(1) 支給決定業務 児童福祉法及び障害者総合支援法上の福祉サービスの利用が必要とされる、障がい児に対して支給者証の発行を行った。 支給決定件数 令和2年度・・・2,602件、令和3年度・・・3,167件、令和4年度・・・2,753件 (2) 支給管理業務 支給決定業務で利用者に発行した受給者証を元に利用した児童福祉サービスの給付費について請求の審査、支払いを行った。		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続 引き続き、業務プロセス改善の取組について研究に努める。
		決算額(千円)	2,012,156	2,352,631	2,671,875	
		一般財源の比率(%)	23.6	22.2	25.1	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 発達支援や早期療育の必要性の認識が広がってきたことから療育を必要とする児童数が増加しており、サービス利用数や事業費も増大している。また、対象者の増加に伴い業務量も増える傾向にあり、業務の効率性に課題がみられる。				

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		決算額(千円)				
		一般財源の比率(%)				
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点 ※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容
		決算額(千円)				
		一般財源の比率(%)				
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和4年度

施策コード	413	施策	配慮が必要な子供・家庭への支援
管理事業	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	所管部局	児童部

1	所管室課	子育て給付課	事業名	母子父子寡婦福祉資金貸付金事業		
事業概要						
母子父子寡婦福祉資金貸付金						
活動実績						
ひとり親家庭及び寡婦の経済的自立を図るため、子どもの修学や就学支度、親自身の技能習得等に必要な資金の貸付けを行った。		年度	R2	R3	R4	評価の視点
【貸付実績】 令和3年度 新規貸付…29件 継続貸付…29件 令和4年度 新規貸付…23件 継続貸付…32件		決算額(千円)	40,851	29,437	26,384	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 □ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容	継続
		予約申請により貸付けまでの期間を短縮することで、必要な時期に貸付けを行うことができている。				

2	所管室課	子育て給付課	事業名	母子父子寡婦福祉資金貸付事務事業		
事業概要						
母子父子寡婦福祉資金貸付事務						
活動実績						
貸付申請の受理及び審査、貸付決定後の借用手続及び貸付金の振込み、対象債権の償還、滞納債権の督促及び整理等を行った。		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)	1,652	1,639	1,865	
		一般財源の比率(%)	0.0	0.0	0.0	※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割 □ 有効性 □ 効率性 ■ 公平性 □ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容	継続
		償還金の滞納整理については、滞納発生からの早期の催告を行い、償還が困難になった場合は累積滞納を作らないよう借主への相談業務に努める。また、連帯借主・連帯保証人へも積極的に催告を行い、必要な場合は法的措置へ移行することを検討する。				

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績						
		年度	R2	R3	R4	評価の視点
		決算額(千円)				
		一般財源の比率(%)				※課題があるものは■ □ 市民ニーズ、社会的役割 □ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 □ 持続可能性
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題			今後の実施計画の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名